三条ロータリークラブ週報

No. 29　1999. 2. 10　No. 2071

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区ガバナー──富　山　富　一
会　　　　長──細　井　増　雄
会長エレクト──長谷川　有　美
副　会　長──斎　藤　弘　文
幹　　　　事──西　山　徳　厚
副　幹　事──藤　田　紘　一
Ｓ　Ａ　Ａ──高　森　章　仁
副ＳＡＡ──五十嵐　寿　一

例　会　日──毎週水曜日　12：30～
例会場及び事務局──三条市旭町２―５―10　三条信用金庫本店内
例　会　場──ＴＥＬ　３５―３３１１
事　務　局──ＴＥＬ　３５―３４７７　ＦＡＸ　３２―７０９５

本日出席会員数	77名中　62名
先々週出席率	90.79％

ゲスト

第2560地区ガバナー　富山富一殿

先週のメークアップ

１／28　見附へ
渡辺喜彦さん
２／８　三条南へ
古沢富雄さん、榎本　勝さん、細井増雄さん、渡辺宏策さん、渋谷正一さん
２／８　新潟北へ
加藤紋次郎さん、渋谷健一さん
２／９　三条北へ
高橋一夫さん、渡辺勝利さん

会長挨拶

細井増雄会長

御挨拶を申し上げます。本日は富山ガバナーをお迎えして、公式訪問という事であります。10月14日に予定しておったのがガバナーの御都合で本日という事になりました、本日が富山ガバナーの第2560地区における公式訪問の最後だという事です。又後で色々と御指導を頂く事になりますがよろしくお願い申し上げます。又渡辺地区幹事、平野分区代理に御同行頂き本当に有難度う御座居ます。よろしくお願い致します。

今ちょっと陽が照っておりますが昨日と違って寒い一日になりました。私が会場に入ったとたんに今日はマスクをしている人が大勢おられるという事でカゼが流行っている様であります。私も実

はこの前例会にカゼをひいておりまして、カゼの菌がくしゃみをすると７ｍ飛んでしまうという事で、ここで私がくしゃみをすると会場の隅まで菌が飛んでしまうという事を話しました。カゼはどんな伝染病よりも良くうつり、カゼをひいておられる方は充分気をつけて頂き、又暖かったり寒かったり致しますので、お体御自愛いただきます様、又皆さんがすばらしいロータリーライフをお過し頂ける様お願い致しまして、今日は公式訪問であり、色々な行事がありますので簡単ではありますが御挨拶とします。ありがとう御座居ました。

幹 事 報 告

西山徳厚幹事

◎富山ガバナー事務所より
米山奨学セミナー開催のご案内がとどいております。
と　き　２月27日（土）PM13:30～
ところ　ホテルニューオータニ長岡

ニコニコBOX

第2560地区　富山富一ガバナー殿
三条ロータリークラブをお訪ねできて、光栄に存じますと共に、大変嬉しく思っています。
第2560地区第４分区代理　平野政寛殿
ガバナー、渡辺幹事さん、ごくろう様です。三条クラブの会員の皆様宜敷くお願い致します。
第2560地区幹事　渡辺敏彦殿
富山ガバナーの96クラブめの公式訪問に同行させて頂きました。本年度も、あと残りの４ヶ月余り、どうか宜しくお願い致します。
細井増雄さん、西山徳厚さん、小林英雄さん、長谷川有美さん、斎藤弘文さん、藤田説量さん、佐野勝栄さん、福井良英さん、上木六治さん、渡辺宏策さん、五十嵐寿一さん、小越憲泰さん、渡辺喜彦さん、成澤敏明さん、岩井数央さん、佐藤武さん、内山辰策さん、高橋一夫さん、五十嵐総一さん、峯村征夫さん、五十嵐晋三さん、山浦日出夫さん、五十嵐昭一さん、樺山　仁さん
富山ガバナー歓迎して
杉野奎司さん
富山ガバナー心から歓迎申し上げます。米山奨学100％達成を目指しております。

２月10日分　￥ 47,000
今年度累計　￥468,000

ガバナー講話

第2560地区ガバナー　富山富一殿

皆様こんにちは、今日は先程御紹介頂きましたように、三条ロータリークラブという伝統のあるクラブ、そして又藤田説量パストガバナーをお出しになったこのクラブに私が訪問出来ます事を大変光栄に、そしてうれしく思っております。

明日は紀元節です。私は大正生れで紀元節という方が覚えやすいもので10月には当然訪問しなければならなかったのですが、私の病気入院という事で変更させて頂きおわび致します。地区大会に関しましては、こちらからも沢山の人に参加してもらい又天候に恵まれまして無事に終了致しました。改めてお礼をさせて頂きます。今程私が公式訪問しました事でスマイルＢＯＸに多大な御協力を頂き又財団米山にも御協力くださるという事で本当に有難度う御座居ました。

さて、こちらには現況報告書を拝見しまして大正生れの方が10人いらっしゃり、私より年長の方が２名おられ、私としては大変心強いわけで、大正生れの方がおられるという事で私はちょっとお話をしたい事があります。

私は大正９年生れで1920年で昭和15年はちょうど20才で御座いました。昭和15年は戦争中で御座いましたから徴兵検査というのがありまして、私は東京の住友銀行におりましたので徴兵検査という事で新潟に帰ってまいりました。徴兵検査では身長、体重、胸囲等12程の検査を受けましたが甲種合格ではなく残念でした。それで12月10日に新発田の連隊に入る前から３ケ月、９月から毎朝東京の銀行の寮のまわりを1.5km走り続けました。おかげで甲種の人に負けないで済みました。又戦争終了後私が帰りますと、父親が病弱で一家７人が私の肩にかかってきました。無我夢中で働きました。私の四国の銀行の同僚が55才になった時に定年退職になって新潟の支店に訪ねて来ました。

その時の55才の姿が私は大変ショックでした。まず髪の毛がまっ白で背ぼんこで本当の厚顔の美少年であった者が覇気のないしゃべりをしてびっくりしました。その時私は自分も55才の時はこんな姿かなという思い、20才の時に走りはじめて良かったなと思い、また55才から走りはじめ今日に至ったわけです。今日55才という年令からして高齢化社会に向かっては健康である事がなによりだというふうに思いましたので長寿社会に向かって走る事だけとはいいませんが、健康のためには歩く事、ゴルフ、ストレッチ、テニス……色んな事があるわけですが、その中から皆さんに一つ選んで頂いて、３ケ月位頑張って頂くと６ケ月位なんとかなる、６ケ月たちますと体が覚えていて、３日や５日休んでも又運動しようかという気になります。ぜひ３ケ月位我慢して頂き将来の健康の為にそなえて頂きたいという事を申し上げたかった事です。高齢化社会において55才から走った事が珍しいという事で新聞に書きなさいという事で40回位書きました。それを本にする事になりまして1,550部売れました。残ったものは公式訪問の時に持って行くようにしました。こちらのクラブにも３冊持ってまいりましたのでよろしかったら読んで頂きたいと思います。

それからもう一つ去年３月６日から７泊８日で米国のアナハイムという所にまいりまして、その時今の会長のレイシー会長という人と一週間ご一緒させて頂きその時の熱心な姿とか、会長としての責任を果そうという気持をまのあたりにみまして、その方の気持をお伝えしたいと思います。

ロータリードリームというレイシー会長のテーマの旗を買いもとめ96枚買ってまいりまして各クラブにお届けしながら今年の６月末まではぜひこれをメーンテーブルにかざって頂きたいと思っております。１番先にレイシー会長の人柄に私は魅了させられ、いつになっても人間を教えられる事が多いなと思ったわけであります。その中で３つ程あり、１つは勇気のある方という事、２つは非常に遠慮深い謙虚の方である。３つ目は思いやりのある方である。勇気のある方であるという事は

手紙の中に『あなたがアナハイムに来る事を私共夫婦は非常に楽しみにしてお待ちしております』という書き出しで、まん中ほどに『あなた方がアナハイムにいらっしゃるにあたっては、土産を持って来てくださらないように、もし土産を持って来るのなら、社会のニーズに応えて下さい』というお手紙を頂いた私は大変感銘をしました。なぜかというと土産を持って来るなという事はなかなか出来ない事です。国際ロータリーの会長のレイシーさんの所に勉強に行くにあたっては159ケ国510何人かのガバナーの中には土産を持っていくのがあたりまえ、しかも国によっては高価な土産を持ってお訪ねする習慣があったようです。会長として持参した人にいらないと言ったら失礼にあたる、国に対しても不快な念を与えるのではないかという事から心ならずも受取った、それをはっきりと持って来てくださるなとおっしゃれなかった訳だろうと思います。思いきって土産を持って来てくださるなと言われる事は大変勇気のある方をと感じました。

さて、それから２つ目ですが２日目にレイシー会長が初めてテーマを発表された時、発表の後英語で演説され、同時通訳で日本語で内容を知ったわけで、内容を知ると同時にその前後に聞えてくるレイシー会長の言葉の強弱とか高低とか聞きいっているうちに、この人は本当に一生懸命に事にあたり自分が会長であるという責任感、サービス精神という物を持って話しておられるのが感じました。この中で私が会長として皆様にお願いする事は新しい事ではありません、今迄の歴代の会長がそれぞれ発表されて皆様に御協力頂いた３つの事をお力添え頂きたいのです。

１．ポリオの撲滅
２．識字率の向上
３．シェルターの建設

という事をおっしゃった。その実現を皆様にお力添を頂きたいのですと。

ポリオの撲滅はまだまだ世界には20％位あり、ワクチン等2000年迄に行ない５年後には小児麻痺は世界中からなくなったという宣言をしたい。

２つ目は久保田ガバナーが一生懸命やられた寺子屋運動の一つであり青少年が読み書き出来ないと就職も出来ない。３つ目はシェルターの建設で雨風をしのぐ家もない子供がいるので少しでも減らしていく。ということを聞き、これは遠慮深い方だと思った。自分の事を言わないで今までやられた事の実現に努力して行きたいという事だと思います。そして３つ目の思い遣りというのはこれらの事がすべて21世紀における青少年とか子供達の為の思い遣りの気持であるという事をしみじみ

と感じた。その米国において良寛様の事を思い出した、レイシー会長はまさに越後が生んだ良寛様の気持と一つではないかと思った。良寛様が善意であるという事を生涯悪意をもたず善意であり慈愛の心であり、大人も小人も、金持ちも貧乏人も男も女も皆さんが良寛様がそこにいらっしゃるだけで和やかな雰囲気になる。そういう慈愛の心、これが良寛様の慈愛の心で雨が降ってきて通りかかった松の木にカサをさしかけてやる。そんな人間だけではなくすべての物に慈愛の心を持っておられた良寛様、そしてそれがすべて自分の事を考えない、泥棒が来ても自分が横にずって布団を持たせてやる様な良寛様であると同時に、書、短歌、漢詩と我々に真似の出来ない、すぐれた文化的な交流を持っていらっしゃった良寛様を私は新潟にいて思い出したのではなく、米国のアナハイムで思い出した事に強い印象を受け今の私の一年間のガバナー生活の一つの柱としているわけです。レイシー会長にどういう形で報いるか考えますと結局気づいた所はロータリー財団、米山に対してこれを私の力で出来るだけの事をやって地区目標を達成する事がレイシー会長のポリオの撲滅とか、識字率の向上とか、国際ロータリー財団の中から、これをやる事が出来るとのだと言う事をまずひとつ思いました。米山奨学会、青少年に対する育成という面から言ってこれも努力しなければいけないと思いました。

ロータリー財団555千ドルという数字は皆様から御理解頂く為に申し上げますが、久保田年度までが540千ドル、それ以上という事で555千ドルとした、2560地区では5,500人いるので１人100ドルのお願いをすれば555千ドルとなる、去年の７月１日には5,346人100人位減少となって１人100ドルでは足りない、１人105ドルにして頂きたいとお願いしたい。もう２月10日ですからあと４ケ月で、６月末までなんとか皆様からお力添を頂いて555千ドル１人105ドルという数字が達成出来るように御協力を頂きたい、これがまずひとつの事です。それから米山の9,400万円というのは御１人17,000円だったのですが、17,500円という数字を又お願いしなければなりません、これは実は米国のアナハイムで勉強中３日目までは当然米山奨学会の話が出ても良いはずなのに一言も出てこないものですから、私共34人の地区の仲間の中の１人が質問をしました、「このアナハイムに来て、米山奨学会の日本では非常に大きな国際貢献、あるいは奨学生の現状として、米山奨学会という立派な物が何故奉仕とか青少年という話の中で出て来ないのは何故ですかと」実は米山奨学会という大きな国際奉仕の団体が日本にあることはレイシー

会長も非常に良く知っておられて、その事については日本に帰られたらレイシー会長の気持を伝えて頂き、米山奨学会というのは今までよりもまして御協力頂くようにして頂きたい。

実はこうした団体的な形にはイギリスでもフランスでもある事はあるんだそうです、したがって大きな金額、小さな金額によって日本だけ取り上げるわけにはいかないのでマニュアルのなかには入れなかったけれど、日本の米山奨学会というのは、もうずば抜けて国際奉仕の大きな貢献者であり、皆様に知って頂いて、これもぜひ御協力を頂きたいということです。

したがって私共もその席では充分納得して、やはり努力しなければいけないと思って来たわけです。これも私としては9,400万円は久保田年度が9,300万円で御座居ました、どんなに時世が悪くとも今までこの2560地区は前年より下回る数字を出しておりません。私もこれを私の年度で下回る数字を出すというわけにはいかないので、改めてこの数字をぜひ達成をしたい。日本の2560地区の555千ドル、9,400万円という数字は極めて大きな数字で、それに関して私はアナハイムでフリートーキングの時にこの数字は中の上に位置するものであると感じ内心は誇りを持って勉強から帰って来たわけです。したがって私は2560地区のガバナーとして皆さんと御一緒にこの地区の面で努めさせて頂く事に関して非常に感謝し又自分自身の為にもなり、その点では有難い仕事を与えて頂いたと、そういうふうに思っております。

講話といいながら結果的には財団米山のお願いという形になりましたが、友愛とか奉仕の精神というロータリーの基本精神に御理解を頂きまして、そして御協力頂く事を心からお願い申し上げたいと思います。

最後になりましたが私自身公式訪問という形でおじゃまするのはこれが最初であり、最後になりますので三条ロータリークラブの益々の御発展とそして又会員皆様の御健勝と御多幸を心から祈念致しまして私の長い話を終りたいと思います。

御清聴有難度う御座いました。

例会案内

三条ＲＣ	３月３日例会	会員卓話
	３月10日例会	会員卓話

メークアップをどうぞ

三条南ＲＣ	３月１日例会	会員卓話
	３月８日例会	会員卓話
三条北ＲＣ	３月２日例会	外部卓話　三条第一中学校教頭　石坂　学殿
	３月９日例会	職場例会　於 おゝ乃
加茂ＲＣ	３月４日例会	会員卓話
	３月11日例会	会員卓話
燕ＲＣ	３月４日例会	クラブフォーラム
	３月11日例会	会員卓話
見附ＲＣ	３月４日例会	会員卓話
	３月11日例会	会員卓話